大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310103518	設置等組織名	創発デザイン工学環
大学名	東京都市大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	東京	事業計画名	東京都市大学 特定成長分野への転換に係る新学環設置

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	１－① 令和~~５~~６年~~２~~２月 選定結果を受けて~~準備室~~事務プロジェクトを設置（実働的には10月から活動開始）（R6.3.29承認） １－② 令和~~５~~６年~~１~~１月 人材ニーズ調査を開始（~~産業界・卒業生~~教育産業）（R6.3.29承認） ~~１－③ 令和５年10月 地域の企業等と設置構想に関する事前協議を開始~~（R6.3.29承認） １－④ 令和~~５~~６年~~10~~３月 アドバイザリー~~委員会~~シンポジウム（第１回）開催（R6.3.29承認） １－⑤ 令和~~５~~６年~~10~~１～３月 国内先進事例視察（R6.3.29承認） ~~１－⑥ 令和５年11月 教育課程検討を開始~~（R6.3.29承認） ~~１－⑦ 令和５年11月 教員採用計画検討を開始~~（R6.3.29承認） ~~１－⑧ 令和５年12月 教員公募（第１次）を開始~~（R6.3.29承認）	１－① 令和６年２月 選定結果を受けて事務プロジェクトを設置（実働的には10月から活動開始） １－② 令和６年１月 ニーズ調査を開始（教育産業） １－④ 令和６年３月 アドバイザリーシンポジウム（第１回）開催 １－⑤ 令和６年１～３月 国内先進事例視察	令和5年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	１－③ 令和~~５~~６年~~10月~~度中 地域の企業等と設置構想に関する事前協議を開始（R6.3.29承認） １－⑥ 令和~~５~~６年~~11月~~度中 教育課程検討を開始（R6.3.29承認） １－⑦ 令和~~５~~６年~~11月~~度中 教員採用計画検討を開始（R6.3.29承認） ~~１－⑧ 令和６年４月 アドバイザリー委員会（第２回）開催~~（R6.10.17承認） １－⑨ 令和６年~~４月~~度中 新設機器・設備導入計画検討を開始（R6.3.29承認） １－⑪ 令和６年~~４月~~度中 教員~~公募（第２次）~~採用活動を開始（R6.3.29承認） １－⑫ 令和６年~~９月~~度中 国内先進事例視察（R6.3.29承認） １－⑬ 令和６年10月 ~~教育産業への学生~~人材ニーズ~~動向と教育プログラム検証を実施~~調査を開始（産業界・卒業生）（R6.3.29承認） ~~１－⑭ 令和６年10月 アドバイザリー委員会（第３・２回）開催~~（R6.3.29承認）（R6.10.17承認）	１－③ 令和６年~~度中~~４月 地域の企業等と設置構想に関する事前協議を開始 １－⑥ 令和６年~~度中~~５月 教育課程検討を開始 １－⑦ 令和６年~~度中~~11月 教員採用計画検討を開始 １－⑨ 令和６年~~度中~~５月 新設機器・設備導入計画検討を開始 １－⑪ 令和６年~~度中~~12月 教員採用活動を開始 １－⑫ 令和６年~~度中~~11～12月 国内先進事例視察 １－⑬ 令和６年10月 人材ニーズ調査を開始（産業界・卒業生） 【改組内容】 令和６年 設置等組織名を「デジタル理工学部 デジタル理工学科」から「（仮称）デジタル・イノベーション学環」（学部等連係課程実施基本組織）に変更した。（R6.9.3承認） 令和６年 入学定員を「200名」から「100名」に変更した。（R6.9.3承認） 令和６年 他学部等の入学定員の減少数を「200名」から「100名」に変更した。（R6.9.3承認）	令和6年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	１－⑩ 令和７年~~４~~８～12月 学生確保の見通しに関する書類を作成するため、人材採用意向調査・入学意向調査を実施（R7.12.18承認） １－⑭ 令和７年~~４月~~度中 ~~アドバイザリー委員会（第４・３・２回）開催~~各員教員からヒアリング（R6.3.29承認）（R6.10.17承認）（R7.12.18承認） １－⑫ 令和７年10月 大学設置・学校法人審議会大学設置分科会運営委員会に認可又は届出の事前相談書類を提出 １－⑪ 令和７年11月 学内規程等の整備 １－⑩ 令和７年12月 事前相談結果の伝達 ~~１－⑮ 令和７年12月 設置届出書作成のためのコンサルティング業務を委託~~（R7.12.18承認） １－⑬ 令和７年度中 国内先進事例視察（R7.12.18承認） １－⑭ 令和７年度中 教室のインテリアシミュレーションを委託（R7.12.18承認） １－⑮ 令和７年度中 ウェブサイト制作を委託・公開（R7.12.18承認）	１－⑩ 令和７年８～12月 学生確保の見通しに関する書類を作成するため、人材採用意向調査・入意向調査を実施 １－⑭ 令和７年度~~中~~５月～令和８年１月 各員教員からヒアリング １－⑫ 令和７年10月 大学設置・学校法人審議会大学設置分科会運営委員会に認可又は届出の事前相談書類を提出 １－⑪ 令和７年11月 学内規程等の整備 １－⑩ 令和７年12月 事前相談結果の伝達 １－⑬ 令和７年~~度中~~５月～令和８年１月 国内先進事例視察 １－⑭ 令和~~７~~８年~~度中~~１～３月 教室のインテリアシミュレーションを委託 １－⑮ 令和７年度~~中~~９～11月 ウェブサイト制作を委託・公開 【改組内容】 令和７年 設置等組織名を「（仮称）デジタル・イノベーション学環」から「（仮称）創発デザイン工学環」に変更した。（R7.9.10承認） 令和７年 入学定員を「100名」から「80名」に変更した。（R7.9.10承認） 令和７年 他学部等の入学定員の減少数を「100名」から「80名」に変更した。（R7.9.10承認）	令和7年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	１後－② 令和８年４月 設置届出書作成のためのコンサルティング業務を委託 ２－① 令和８年４月 教育研究環境整備のための場床・改修工事に着工 １後－② 令和８年~~７月~~度中 広報~~開始~~活動・学生募集活動の実施（R7.12.18承認） ２－② 令和８年10月 機器・設備設置のための工事着工 ２－③ 令和９年１月 新設機器・設備導入 ２－④ 令和９年２月 LMS試験運用 ２－⑤ 令和９年３月 研究室什器設置		令和8年度自己評価 リストから選択してください。
令和9年度	３－① 令和９年４月 コーディネーター職員雇用 ３－② 令和９年４月 学生用履修ガイドブック（令和９年度入学生用）作成 ３－③ フェーズ３各年度随時 広報 ３－④ フェーズ３各年度随時 地方の企業・自治体との協議 ３－⑤ 令和９年６月 新入生の実態把握のための学生アンケートを実施 ３－⑥ 令和９年10月 外部有識者会議（第１回）を開催し評価と助言を受ける		令和9年度自己評価 リストから選択してください。
令和10年度	３－⑦ 令和10年４月 学生用履修ガイドブック（令和１０年度入学生用）作成 ３－⑧ 令和10年４月 新入生と在学生（２年生）の学生アンケートを実施し、年次進行による教育効果測定とフォローアップを行う ３－⑨ 令和10年10月 外部有識者会議（第２回）を開催し評価と助言を受ける		令和10年度自己評価 リストから選択してください。
令和11年度	３－⑩ 令和11年４月 学生用履修ガイドブック（令和１１年度入学生用）作成 ３－⑪ 令和11年４月 新入生と在学生（２年生・３年生）の学生アンケートを実施し、年次進行による教育効果測定とフォローアップを継続的に行う ３－⑫ 令和11年10月 外部有識者会議（第３回）を開催し評価と助言を受ける		令和11年度自己評価 リストから選択してください。
令和12年度	３－⑬ 令和12年４月 学生用履修ガイドブック（令和１２年度入学生用）作成 ３－⑭ 令和12年４月 新入生と在学生（２年生・３年生・４年生）の学生アンケートを実施し、年次進行による教育効果測定とフォローアップを継続的に行う ３－⑮ 令和12年10月 外部有識者会議（第４回）を開催し評価と助言を受ける		令和12年度自己評価 リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価 リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和８年４月 ~~デジタル理工学部デジタル理工学科~~ 学部等連係課程実施基本組織の設置届出予定（R6.9.3承認） （仮称）~~デジタル・イノベーション学環~~ 創発デザイン工学環 （R7.9.10承認）	令和８年４月 創発デザイン工学環 学部等連係課程実施基本組織の設置届出	
定員減又は 学部等の廃止	令和８年４月 入学定員 ~~200 100~~ 80 人 減員に係る届出予定（R6.9.3承認）（R7.9.10承認） 令和９年４月 入学定員 ~~200 100~~ 80 人 減員予定（R6.9.3承認）（R7.9.10承認）	令和８年４月 入学定員 80人 減員に係る届出 [内訳] ・理工学部機械工学科 10人減員に係る届出（入学定員110人、工学関係） ・理工学部機械システム工学科 10人減員に係る届出（入学定員100人、工学関係） ・理工学部電気電子通信工学科 20人減員に係る届出（入学定員130人、工学関係） ・理工学部応用化学科 5人増員に係る届出（入学定員80人、工学関係，理学関係） ・理工学部原子力安全工学科 5人減員に係る届出（入学定員40人、工学関係） ・都市生活学部都市生活学科 10人減員に係る届出（入学定員150人、工学関係，経済学関係，家政関係） ・人間科学部人間科学科 30人減員に係る届出（入学定員70人、教育学・保育学関係）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	東京都市大学

2.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化，体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
既に実施している本学独自のPBL科目「SD PBL」では、企業や自治体が抱える課題をテーマとして設定している。本学が所在する東京都世田谷区内で協定を締結している大学と協議を進め、例えば、単位互換制度による連携した教育体制の構築を目指す。デラサール大学（フィリピン）、エディスコーワン大学（オーストラリア）、タマサート大学シリントーン国際工学部（タイ）、マレーシア日本国際工科院（マレーシア）と東京都市大学で連合する「アジア・大洋州５大学連合」が2018年に設立されている。連合体を構成する大学は国際的にも評価が高く、当該計画に関連する分野における強みを持つ海外大学との連携関係は既に構築されている。この取組では、締結校間の２大学で各１学期の間の授業を履修し単位を修得する交換留学プログラム、交流協定校の学生が１週間程度のPBLを実施するサマーキャンププログラムがある。これらを活用して、アジア・オセアニア地域の学生とともに、グローバルリーダーの育成を目指す。	a.:本学の卒業生で実社会の第一線でご活躍されている方々が審査員となって「第7回東京都市大学ビジネスプランコンテスト」を対面にて開催した。また、2025年度前期には産業界から講師を招き、「未来を拓くイノベーション」を開講した。新設する創発デザイン工学環においては、同科目を科目区分「学環基盤科目」として合同開講することを決定した。 b.:既に単位互換制度を確立している大学との間で、特別聴講学生の受入れがあった。 c.:アジア・大洋州5大学連合 (AOFUA)【本学、デラサール大学(フィリピン)、エディスコーワン大学(オーストラリア)、タマサート大学シリントーン国際工学部(タイ)、マレーシア日本国際工科院(マレーシア)の５大学】により、国際社会でリーダーシップを発揮する人材育成のため、サマーキャンプがオーストラリアのパースで開催された。本学からは7名が参加した。 これらの連携をさらに発展させる形で、教育体制の整備を進めていく。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学の入試制度は、総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜・その他特別選抜を多様に展開し、2023年度実績ではそれぞれ8.2%・29.5%・61.1%・1.2%の入学者割合となっている。このように既に入試制度の多様化と入学者の多様化が図られている。入学者選抜における科目の見直しとしては、大学入学者選抜実施要項に従い、各入試制度の趣旨を踏まえながら適切な評価方法を取り入れており、試験終了後は入試関係会議で実績を検証して不断の見直しを行っている。 2024年度入試では理工学部総合型選抜で女子枠を設けた制度を導入しており、その実績を踏まえ当該計画への反映も検討する。高校との連携として、高校での説明会はコロナ禍期間を含む直近5年間の平均で年142.2校。高校の探究活動を支援する「オープンミッション」という企画も展開しており、これらをさらに充実させる計画である。	a.:2025年度入試においては、学習指導要領の改定に伴い、共通テスト利用入試や一般選抜（前期情報型）において、「情報」を含めるように変更した。2026年度入試では、「情報」を含む「共通テスト利用入試・後期（6教科型）」を新設した。また、一般選抜・前期では一部の学科で、国語・数学・英語の3教科で受験できるように変更した。2027年度入試は、これらを継続する。 b.:2026年度入試では、理工学部総合型選抜で女子枠を設け、7名が入学した。2027年度入試においても、これを継続する。 c.:高校の「総合的な探究の時間」を支援する「オープンミッション」を2025年度も実施し、参加者数が347名と好評であった。参加者アンケートを見ても「後輩にも勧めたい」という声が多かったことから、2026年度も継続して実施することとしており、5月1日現在、申し込みを受付中である。 これらの取り組みをさらに発展させる形で、多様な入学者の確保に取り組んでいく。	

大学名	東京都市大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	創発デザイン工学環（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定			届出	開設			完成年度											
事業計画に定める定員		入学定員	人					80														
		編入学定員	人					0														
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	東京都市大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,560	1,560	1,560	1,560															
		入学者数	人	1,710	1,576	1,631	1,604															
		女子学生数	人	404	429	438	452															
		社会人学生数	人	0	1	0	0															
		留学生数	人	22	39	2	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,560	1,560	1,560	1,560															
		入学者数(B)	人	1,710	1,576	1,631	1,604															
		女子学生数	人	404	429	438	452															
		社会人学生数	人	0	1	0	0															
		留学生数	人	22	39	2	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.10	1.01	1.05	1.03															
	収容定員等	収容定員(C)	人	5,910	6,040	6,140	6,240															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	6,358	6,545	6,703	6,706															
		編入学者数	人	26	23	21	16															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.08	1.08	1.09	1.07															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	1,318	1,571	1,529																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	87	89	87	87															
		授業科目の単位数	単位	290	346	336	326															

大学名	東京都市大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,750	1,750	1,750	1,750															
		入学者数	人	1,906	1,773	1,837	1,808															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,750	1,750	1,750	1,750															
		入学者数(B)	人	1,906	1,773	1,837	1,808															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.09	1.01	1.05	1.03															
	収容定員等	収容定員(C)	人	6,670	6,800	6,900	7,000															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	7,144	7,347	7,506	7,512															
		編入学者数	人	26	24	21	16															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	1.08	1.09	1.07															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定				開設			完成年度						
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 千円	1,483,408	2,009,588	1,577,913	1,064,168	1,206,500	1,286,960	1,404,342	1,655,429											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	944,089
本事業による助成金の額(F)	千円	1,690,000
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	986,339

特記事項

編入学定員0人とは、若干名を意味している。